

令和2年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	一人ひとりの確かな学びを支えるための教育課程を編成し、教育目標の実現に向け、各教科等の指導を関連付けながら魅力ある授業を展開する。	①児童・生徒の実態や地域の特性を生かした教育課程を編成し、一人ひとりの指導の充実を図る。 ②教員一人ひとりが専門性に基つき、自立活動や教科等の指導を適切に行う。	①-1 年間指導計画を作成し、目標や内容、方法(指導形態)などを明確に取り組む。 ①-2 新型コロナウイルス感染症予防のため、家庭と学校との連携をより深めながら、学習内容を精選し、効果的に指導できるよう取り組む。 ①-3 校内研究と連動させながら、全校で特色ある教育課程づくりに取り組む体制を構築する。 ②-1 学校教育目標や教員のニーズを踏まえて研修内容を精選し、必要な時期に必要な研修が行えるよう計画する。 ②-2 各学部、学年等で計画的に授業の振り返りを行い、PDCAサイクルに基づいた授業実践を定着させる。	①研究と連動させながら、全教員で教育内容等を工夫しながら実践に取り組むことができたか。 ②研修や授業実践の振り返りなどを計画的に行うことができたか。					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	個別教育計画作成・運用システムを構築し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の充実を図る。	①一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導のため、個別教育計画の作成等についての共通理解を図り、実態把握に基づき重点課題を適切に設定する。 ②日々の教育活動を通して、実態把握を深めるとともに、個別教育計画に基づく話し合いをもち、教育的ニーズに応じた指導・支援の充実を図る。	①教育課程を踏まえた個別教育計画の書式を作成し、作成方法等について全教員に周知し、実践事例を通して必要な改善を図る。 ②-1 個別教育計画の検討日(ケーススタディー)を設定し、目標に対し、複数の様々な立場の教員で検討・修正・評価し、指導の充実につなげる。 ②-2 実態把握の方法について、専門職等を活用し深める。	①個別教育計画に基づき、教員間や保護者と重点課題や指導内容を共有しながら取り組むことができたか。 ②学級を中心に個別教育計画についての検討(振り返り日)を計画的に行うことができたか。					
3	進路指導・支援	地域の関係機関との連携を築き、児童生徒が地域で豊かに暮らし働くことにつながる指導・支援を展開する。	①児童・生徒の自立と社会参加に向けて、キャリア教育を推進し、作業学習や校内実習等の充実を図る。	①-1 校内支援体制を構築し、本人、保護者と移行支援に関わる個人面談や相談、校内実習等を実施し、生徒のニーズや適正等を把握する。 ①-2 将来の生活を見据え、中学部・高等部と連携し、本校の作業学習の在り方を検討・実施する。	①面接や作業学習、校内実習等を通し、本人の自己理解や卒業後の生活に対する意識を育むことができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
			る。 ②地域関係機関と連携し、職場開拓等を進める。	①-3 卒業後の生活に向けた意識の啓発と情報提供を行う。 ②地域関係機関を有効に活用し職場開拓を進めるとともに、卒業後の生活を見据え相談支援センター等との連携を図る。	②地域関係機関との連携や職場開拓を進めることができたか。					
4	地域等との協働	共生社会の実現に向け、地域が積極的に学校運営に参画し、学校で、「ともに学び、ともに楽しむ、ともに喜ぶ」教育活動を創造・展開する。	①学校運営協議会を発足し、地域の方が学校づくりに参画する仕組みの一助とする。 ②地域ニーズを把握するとともに、地域貢献する教育活動を模索する。	①学校運営協議会の意義や目的を明確にし、関係者で共有するとともに、学校運営に基づく計画的な会議を開催し、取組みの成果や課題を分かりやすく情報発信し、有効な意見交換ができるようにする。 ②-1 地域関係機関や教員間での連携を図り、居住地交流や学校間交流等の交流及び共同学習の仕組みづくりに取り組む。 ②-2 地域のニーズを把握し必要な相談や情報発信に積極的に取り組む。 ②-3 外部人材の活用を図り、通学支援や学習活動の充実を図る。 ②-4 施設開放の在り方を検討し、地域の方が有効に活用できるようにする。 ②-5 地域貢献についての研究ユニットを立ち上げ、学部の授業との連携を図りながら実践する。	①学校運営協議会を開催し、地域と協働して学校運営を行うことができたか。 ②児童・生徒の実態や地域のニーズを把握し、地域貢献する教育活動について教員全員で創造し、取り組むことができたか。					
5	学校管理 学校運営	児童生徒、保護者、教職員、地域と誰もが安全・安心で、使いやすい整った教育環境の充実を図る。	①児童・生徒が安全で安心できる教育環境を構築する。 ②ライフワークバランスを踏まえた職場環境づくりに取り組む。 ③感染症予防の推進を含む安心できる保健体制と安全で美味しい給食を提供できる体制を構築する。	①学校運営に関わるルールや体制について学校運営要項やマニュアル等を作成し、教職員や関係者と共通理解を図るとともに、実施に基づき適宜必要な見直しを行う。 ②-1 働きやすい職場環境を整備する。 ②-2 時間外勤務を各自が把握でき、自己調整できる機会を提供する。 ②-3 退勤時間を明確にし、計画的に進められるようにする。 ③-1 新型コロナウイルス感染予防の推進のために衛生的な環境の確保、シミュレーションの実施、必要な情報発信等を行う。 ③-2 医療的ケアの支援体制を構築し、的確で安全な実施を行う。 ③-3 個に応じた安全で美味しい給食の提供を行う。 ③-4 形態食の提供による個に応じた摂食指導の推進及びアレルギー事故防止を徹底する。	①学校運営要項や必要なマニュアルが作成されたか。 ②働きやすい職場環境の工夫が図られたか。 ③感染予防を含め、安心・安全な体制が構築されているか。					